

香川県広域水道企業団水道事業地区別意見交換会  
令和4年度会議議事録（中讃ブロック統括センター）

**会議日時**

令和5年2月14日（火）午前10時40分から

**場所**

香川県広域水道企業団 広域送水管理センター 3F大会議室

**出席人数**

26人（委員14人（他2人欠席）・職員12人・傍聴者なし）

**議題**

1. 令和3年度決算の概要について

**【意見】**

- ①・給水戸数と給水人口は、どのように集計されているのか。  
・収益的収支の損益に関する現状認識はどうか。

**【回答】**

- ①・給水戸数は水道の契約件数で、一般世帯だけでなく事業者も含んでいる。  
給水人口は、各市町の公表されている人口をもとに集計している。  
・水道企業団全体として、令和3年度は黒字決算となっているが、費用の増加や新型コロナウイルス感染症による水道料金収入の減少など、個別事情から赤字となっている事業体（市町）もある。

**【意見】**

- ②・給水量は、どのように算出されているのか。  
・給水人口と給水量・水道料金収入の関係について、事業体（市町）によって比率が異なっている理由は何か。

**【回答】**

- ②・給水量は、浄水場などから各家庭に水道を供給した水量となっている。  
・水道は、個人宅だけではなく工場など事業所へも供給している。そのため、給水量と水道料金収入は、給水人口のみに単純に比例するものではなく、その他の要因もあることから、事業体（市町）によって比率が異なっている。

## 2. その他

### 【意見】

③・上水道と工業用水道の整備などの兼ね合いについて、その経営的な観点から対応を十分検討してほしい。

### 【回答】

③・以前は、水道事業と工業用水道事業の事業主体が異なっていたが、現在は水道企業団として両事業を運営している。そのため、水道企業団として、水道事業と工業用水道事業の今後の需要などを踏まえ、計画的な事業運営を行う必要があると考えている。

### 【意見】

④・水道管の耐震化について、現状と今後の計画はどうか。

### 【回答】

④・水道管の耐震化工事は、事業体（市町）ごとの更新計画に基づき進めているところである。事業体（市町）によって進捗状況は異なるが、今後も更新計画に基づき工事を進めていく予定である。

### 【意見】

⑤・各浄水場の取水量や配水量について、数値の見える化はしないのか。

### 【回答】

⑤・意見を踏まえ、水道事業についてより理解いただけるよう、必要な情報を精査し、適切に情報発信していきたい。また、浄水場の配水量実績については、準備ができ次第、ホームページに掲載する予定である。

### 【意見】

⑥・修繕に当たっての現場等での住民対応の現状はどうか。

### 【回答】

⑥・住民への対応については、委託業者とも連携し、接遇マナーなどの改善・向上に努めたい。

**【意見】**

- ⑦・中讃ブロック統括センターとして、今後も丸亀市飯山町の現事務所で事業を行っていくのか。
- ・旧坂出市水道局事務所の今後の活用はどうするのか。

**【回答】**

- ⑦・中讃ブロック統括センターでは、当面、現事務所で事業を行っていく。
- ・旧坂出市水道局事務所は、現在、出先窓口として「坂出サテライト」を設置しているが、令和4年度末に閉鎖する予定である。閉鎖後の活用については、坂出市とも協議を行っており、施設の有効活用を図っていきたい。

**【意見】**

- ⑧・耐震化を計画的に進めていくことで、水道料金の値上げに繋がるのか。

**【回答】**

- ⑧・耐震化工事は更新計画に基づき進めており、市町によって施設の老朽化の程度や更新工事の状況が異なっているが、水道料金は耐震化工事のみにより決定されるものではない。令和10年度に予定している水道料金の統一に向けて、今後、料金体系・料金水準の検討を進めていく。